

## 「アルコール関連問題懇談会市民大会」事業について

アルコール依存症はまだ世間によく知られていない病気です。現在定年後の高齢者の依存症者が増えてきています。そのような人に病気について知ってもらい相談機関や専門治療機関につながるように、下記のとおり事業を実施しますのでお知らせします。

## 記

## 1 趣 旨

アルコール依存症は、お酒が入ると自分でお酒をコントロールできなくなる病気です。また、本人の否認などでなかなか医療につながりにくい病気です。進行するとアルコール性臓器障害や若年性の認知症、暴言・暴力をふるうといった行動をおこしたり、ひきこもって食事をとらず飲酒したりするなど、周囲の人に大変な迷惑をかけることとなります。

現在日本は、高齢社会が進み高齢者のアルコール問題は、本人は「酒を飲むしか楽しみがない」といい、周囲の人たちも「あと少ししか生きられないのだから酒ぐらい飲ませてあげよう」というように周囲の人の無関心から見過ごされがちな状況にあり、今後も増加していくことが考えられます。

この事業はこうした問題を抱える人やその家族、及び行政、医療、企業その他の機関の方々に飲酒と酒害について正しく理解していただき、残りの人生をどう生きるのか、いかに健康で充実した生活をしていくのかを、考える一助になればと考え開催します。

- 2 主 催 奈良市アルコール関連問題懇談会  
(植松クリニック、奈良市断酒会、奈良市保健所)  
代 表：植松クリニック 植松 直道  
事務局：奈良市保健所 保健予防課

- 3 テーマ 『お酒で困っていませんか? ~高齢者とお酒の問題~』

## 4 事 業

(1) 日時 平成17年10月13日(木) 午後1時30分~午後4時30分

(2) 場所 奈良市生涯学習センター 3階 学習室1・2・3

駐車場がございませんので電車・バスをご利用ください。

(3) 講演(講演順)

「アルコール関連問題のひろがり」

奈良市保健所 精神保健福祉相談員：中田 俊

「高齢者のアルコール問題」

浜寺病院 医師：米澤 隆

「お酒をやめた体験談」

奈良市断酒会員

「アルコール関連問題懇談会の紹介」

奈良市保健所 精神保健福祉相談員：笹川 智司

(4) お酒で困っていることの相談コーナー

講演と並行して奈良市断酒会と保健所の相談員がお酒で困っていることの相談を受けます。事前に奈良市保健所保健予防課まで電話かFAXでお申し込みください。当日も受け付けます。

以上

奈良市保健所 保健予防課
電 話 0742-23-6173
FAX 0742-22-2869